

# 病院で暴行 通報態勢確認

中京で訓練 複数人で状況把握も

医療機関での暴行や  
傷害事件を想定した訓  
練が14日、京都市中京

区の洛和会丸太町病院  
であった。同病院や市



訓練で、模造ナイフを示す患者役の  
捜査員をなだめる病院職員ら(京都  
市中京区・洛和会丸太町病院)

立病院、中京署の計約  
60人が参加し、複数で  
状況を把握すること  
や事件発生時の通報  
態勢の重要性を確認し  
た。  
訓練は、健康保険証  
を持参せずに受診し、  
全額負担を求められた  
男が激昂し、職員を襲  
う想定で実施した。複  
数の職員が暴れる男役  
の捜査員の話聞いて  
なだめ、男が職員の胸  
ぐらをつかみ、刃物を  
示した段階で即座に

別の職員が110番  
するなど冷静に対応し  
た。  
中京署によると、管  
内では今年、病院内で  
の暴行や傷害事件が3  
件発生。来院者らのト  
ラブルによる通報も

月に複数件あるとい  
う。丸太町病院の二  
宮清院長は「訓練を  
機に、職員も患者も  
被害に遭わないよう、  
態勢を整えたい」と話  
した。

(宇都寿)